

全国から実践者が集うセミナー開催



14 年前に琴平で開催された日本地域福祉研究所主催の「地域福祉実践研究セミナー」が再び琴平で開催されました。全国から実践者や大学の研究者たちが集い、これからに向けて琴平の実践をさらに深めてくれました。(詳細は P3)

ステーション

行事予定表 (9/13~10/10)



日	月	火	水	木	金	土
9/13	14	15	16	17	18	19
	福山市新市地区社協視察来所	生きがいデイ (手芸)	弁護士相談 13時~	生きがいデイ (高瀬天然温泉)		
20	21	22	23	24	25	26
				高松市社協香川支所視察来所 榎小福祉体験		
27	28	29	30	10/1	2	3
		生きがいデイ (手芸)	ふれあい相談		琴平高校 えんがわクラブと交流	CSW中讃地区研修
4	5	6	7	8	9	10
		生きがいデイ (手芸)	ふれあい相談	生きがいデイ (軽体操)		

☆ 10月の弁護士相談 (要予約) は 21日 (水) です。☆ふれあい相談は月~土行っています。
 ☆気になる事業や行事があれば何でもご連絡ください。

挨拶から始まる近所づきあい

夏の終わりは曇天の多いこと、異常気象で竜巻やゲリラ豪雨で被害のニュースが多いような気がします。いつ起こるかわからない大規模地震も含め他人事ではないです。「備え」が「減災」につながると言われますから、いろいろな災害を想定して「備え」に取り組みましょう。

まず、「備え」の心構えとしては、「自己責任」でしょうか。

「自分の命は自分で守る、誰の責任でもない、誰の責任にもしない。」

社協では10日に災害ボランティアについての研修会を開催します。指導講師はNGOピースポートから来てくれます。内容は次回ご報告します。

そしてその次は、「お互い様」でしょう。

琴平町では自治会に加入していないご家庭もあります、高齢者だけでなく単身世帯が多くありますから一世帯の平均人員は2.5人です。両親と子ども2人の核家族よりもっと規模が小さくなっています。「遠くの親戚より近くの他人」を実行しませんか。ご挨拶から始まるご近所づきあい。地域社会の中での孤立や孤独が社会全体の問題にまでなっています、これは大都会だけではないです。

この問題に対し、制度や法律を作るだけで解決することが難しいのはご承知の通りです。居心地のいい地域づくりをめざした活動にご賛同ください。

こんなことしました！

セミナーその1 第13回四国地域福祉実践セミナー in 徳島・阿波市に参加してきました。



「こんぴら地域福祉セミナー」からはじまったこのセミナーも第19回目を迎えることになりました。この19年の間、琴平町から毎回20人~30人の方々が参加しています。

四国の各地域で頑張っている団体や社協、NPOの取り組みを肌で感じ、琴平の地域福祉の実践に活かしてきました。

琴平のまちを支えているのはまさにこの地で住む住民の皆さんであり、何か足りないものは自分たちの力で少しずつ補い、ちょっと近所の方に目を向けて何かおかしいなあと思ったら社協に連絡していただく。その何気ないことが本当に地域の皆さんでささえられているなど実感しています。地域を創るのは地域の皆さんということはこのセミナーを通して毎年教えられています。

今回は「415のわ」の土岐瞳さんが分科会2の「子どもの育ち」を支える子育て支援と地域福祉」の話題提供者として415のわの

実践を報告しました。緊張感がひしひしと伝わりましたがとても上手に発表しました。琴平の住民さんが立派に発表している姿を見て、もっともっと事務局としても頑張っていかなければいけないなど改めて思いました。





全国から実践者・研究者が琴平に集い学ぶ

8月27日～29日に丸亀を主会場とした「第21回地域福祉実践研究セミナーin 香川・中讃」が開催されました。中讃地区の3市5町の社協職員と香川県社協で構成された実行委員会形式で、当日までに幾度なく会を重ね、無事開催でき大盛況で幕を下ろすことができました。これからの実践の糧にしていきたいと思えます。

27日(木)は特別講演とシンポジウムがあり、二日目の8月28日(金)は7つの会場(3市4町)に分散するワークショップが開催されました。琴平町も会場に選ばれており、琴平町公会堂で「地域を支える人材の発掘と育成・継承」というテーマで、琴平で現在行われているプラットフォーム事業を題材に、これからどのようにして地域の力を掘り起していくのか、地域の社会資源を活用して地域づくりに参画してもらっていくのかをカードワークを中心に行いました。その中では、一般参加者以外にも町民の方約20名も参加して一緒に作業をすすめました。

始まりはパネルディスカッションとして「415のわ」の眞鍋陽子さんと「K³」の大西良子さんから話題提供があり、その話題から講師である日本福祉大学の原田先生、高知大学の三ツ石先生が話題を掘り下げ、課題とよいところを参加型で考えていきました。

そして午後から琴平社協の地域福祉活動実践の報告ということで、琴平社協が法人開設

以来今までどのように地域福祉活動を展開してきたのかを金崎から報告し、琴平町の社会資源を深めました。最後に琴平町で今後使うアクションプランを参加者が考えるワークショップを行い終了しました。さすがに地域福祉の実践者が集うだけあってとてもおもしろいアイデアもあり、参加した町民の方も大変勉強になったそうです。私たち職員もこのセミナーを開催できたことによって社協としての一体感ができたような気がします。それぞれの職員が、セミナー参加者が満足していただけるようにと気づいたことを率先して準備し、実行委員会等でいない不在メンバーの穴をカバーしてくれました。住民の皆様方にはセミナー開催期間中大変ご迷惑をおかけしたと思えます。この場を借りてお詫び申し上げます。



(講師の原田先生によるワークショップ)

おばけおはなし会ってなに？

415のわがおばけおはなし会と題して「絵本文庫どり～む」で行いました夏とえばおばけ！ということでおばけにちなんだ絵本と工作を楽しみました。

次回 9月27日(日) 16時～楽集館
「お月見おはなし会」



お知らせ

赤い羽根共同募金にご協力よろしくお願ひします。

みんなで集めてみんなで琴平のまちのために使うのが「赤い羽根共同募金」です。

集められた募金は、町内で地域のために活動している団体等に地域をよくする仕組みとして配分されています。この募金がなければ地域活動ができなくなり、地域に元気がなくなってしまう。ぜひ、10月1日から始まる赤い羽根共同募金にご協力くださいますようよろしくお願ひします。



←今年のデザイン



職員・訪問介護員募集！

下記の要件をご覧ください。なお、HPにて詳細は記述しておりますのでそちらもご覧いただけたらと思います。

<仕事の内容>

- ・社会福祉関連の事業活動
- ・介護支援専門員（ケアマネージャー）業務
- ・訪問介護業務

※担当業務は経験や資格により相談しながら決定したいと思います。

<必要な資格>

- ・介護支援専門員 ・介護福祉士
- ・介護職員初任者研修
- ・社会福祉士 等有資格者が望ましい

<雇用形態>

- ・非正規職員（但し、正規職員としての登用有）

<採用人数>

- ・若干名

<担当者>

庶務・権利擁護グループリーダー 近藤武嗣

かふえ山桜

まちの交流拠点、「かふえ山桜」です。

9月22日(火)23日(水)は特別メニューで皆様のお越しを心よりお待ちしております。

なお、臨時休業日情報は社協のHPをご覧ください。

ちよつとこ場 行事予定表 (9/13~10/10)

日	月	火	水	木	金	土
9/13	14	15	16	17	18	19
		稲穂会 (写経) 10時～	サンサンサロン			
20	21	22	23	24	25	26
	NikoNiko (榎井写経)	稲穂会 (写経) 10時～	豊作会 (写経) 10時～	あさひ会		
27	28	29	30	10/1	2	3
		稲穂会 (写経) 10時～	豊作会 (写経) 10時～			
4	5	6	7	8	9	10
	NikoNiko (榎井写経)	稲穂会 (写経) 10時～	豊作会 (写経) 10時～	ふれあいコンサート		

※写経などに興味のある方、ちよつとこ場を使用したい方は気軽に琴平社協に連絡ください。